

生還者からウイグルジェノサイドを告発する 証言集会

登壇者：

● グルバハール・ハイティワジ氏

彼女は1966年にウイグルで生まれ、夫と二人の娘とともにフランスに移住しました。2016年から3年間、中国の強制収容所に収容されていました。実際には、強制収容所に2年半間収容された女性が、自身の過酷な経験を語りました。彼女は2017年から2019年まで強制収容所に収容され、収容所内で拷問、暴行、洗脳、不妊注射などを受けました。

● ケルビヌル・シディク氏

彼女はウイグル生まれで、元々は強制収容所で教師として働いていました。2017年には、強制収容所で9ヶ月間勤務し、その職員として強制収容所の状況を体験しました。彼女は海外に脱出できた唯一の生存者であり、子宮内避妊具（IUD）を強制的に3度装着された経験があります。



そこで一体何が行われているのか？

申込サイト：<https://forms.gle/SJdzaggJiAsT7EBb9> →



時期：2023年11月01日（水）18:30～20:10

※受付開始：18:00

場所：星陵会館ホール

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目16-2

※永田町駅から徒歩約4分



主催者：特定非営利活動法人 日本ウイグル協会

お問い合わせ：Tel：03-5615-9597

MAIL：info@uyghur-j.org